

越谷市本庁舎整備基本構想(素案)に対するパブリックコメントの実施結果について

意見募集期間: 平成26年6月16日(月)~7月15日(火)

【総括】 意見提出者3人(内訳: 電子メール1人、直接持参1人、意見箱投函1人)・意見数8件

【項目別内訳】 (目次別)	全体的事項	0件
	はじめに	0件
	1. 上位関連計画・位置づけ	0件
	2. 計画条件・庁舎現況	0件
	3. 現庁舎の課題	0件
	4. 本庁舎に必要な機能や 使いやすい庁舎の検討	3件
	5. 導入機能の整備方針	2件
	6. 本庁舎の規模の検討	1件
	7. 本庁舎の整備方式	2件
	8. 本庁舎の事業方式	0件
	9. 敷地利用計画の検討	0件
	10. 事業スケジュール	0件
	その他	0件

【周知方法】

- ・市ホームページへの情報掲載
- ・総務管理課窓口、庁舎内掲示板(7か所)、情報公開センター、各地区センター(13か所)へのポスター掲示
- ・越谷cityメール登録者へのメール送信
- ・広報こしがやお知らせ版(7月号)への記事掲載

【意見提出方法】

- ・電子メール
- ・郵送(当日消印有効)
- ・FAX
- ・各施設に設置した意見箱への投函

【素案冊子・意見箱設置箇所】 全15か所

- ・総務管理課窓口
- ・情報公開センター
- ・各地区センター(13か所)

No.	該当箇所	素案のページ	意見の要旨		審議会の 考え方(案)	素案の修正
1	4. 本庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討	P. 18~19	「機能とスペース」の優先順位が理解できません。この優先順位は、新庁舎における各部署の位置やスペースを決めるにあたっての指針となる重要なものだと思うので、右記意見を提出します。	「市民サービス機能」を第一優先とすることは再考願いたい。①の「市民サービス機能」は、全ての機能にかかる普遍的な事項であり、理念として掲げるならまだしも、機能として扱うのはどうなのか。新庁舎運用のイメージができていない現段階において、包括的に第一順位とするのは、かえって機能とスペースの重複や無駄を招きかねず適当と思えない。さらに、様々な脅威や危険が現実化し始めたこれからの時代には、「しっかりした保全警備に保障された継続的・安定的な行政サービスの提供」こそが求められるのではない。	素案に掲げた「機能とスペース」「機能とシステム」は、前ページに掲げた「基本理念」や「基本方針」から求められる導入機能を示したものです。基本方針との相関関係を示しており、この欄に掲げられた順番が、優先順位となるものではありません。 また、市庁舎を訪れる方は、市役所に用事がある方が多くを占めていることから、市庁舎は市民サービスの提供基盤としての側面が強いことも考慮した位置づけとしています。 なお、同ページに「ライフサイクルコストを低減した庁舎」と掲げていることから、ご意見のあった機能・スペースの重複や無駄が無い、機能性・効率性の高い庁舎となるよう、市に答申します。	なし
2	4. 本庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討	P. 18~19	「市民交流活動機能」の優先順位は高すぎると思う。中央市民会館や地域の公民館等の活用も可能である。また、一部の市民・団体等に偏った公共施設利用が、市民交流実績の実態だと一般に感じられていることを踏まえると、③の「防災拠点機能」より上位と位置づけるのは、市民感覚から大いに違和感があります。	③の「防災拠点機能」、④の「行政執務機能」、⑤の「議会機能」は、越谷市庁舎の本来的機能であるにもかかわらず、優先順位が低すぎる。特に、④、⑤は第一、第二優先とすべき。	素案に掲げた「機能とスペース」「機能とシステム」は、基本方針との相関関係を示しており、この欄に掲げられた順番が、優先順位となるものではありません。 「すべての市民に開かれた庁舎」、「機能性・効率性の高い庁舎」、「市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎」等に関連する機能として、「市民交流活動機能」を掲げています。 審議会における審議の中でも、展示スペースや多目的スペースは、災害等の非常時に対応するためのスペースに活用することが可能との意見もあり、有効活用できる機能として位置づけています。	なし
3	4. 本庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討	P. 18~19		③の「防災拠点機能」、④の「行政執務機能」、⑤の「議会機能」は、越谷市庁舎の本来的機能であるにもかかわらず、優先順位が低すぎる。特に、④、⑤は第一、第二優先とすべき。	素案に掲げた「機能とスペース」「機能とシステム」は、基本方針との相関関係を示しており、この欄に掲げられた順番が、優先順位となるものではありません。 いずれの機能も重要と考えておりますが、前ページに掲げた庁舎整備のキャッチフレーズ「越谷市民の安全・安心な暮らしを支える親しみのある庁舎」となるよう、市に答申します。	なし

No.	該当箇所	素案のページ	意見の要旨	審議会の 考え方 (案)	素案の修正
4	5. 導入機能の整備方針	P. 20～21	<p>(防災機能について)</p> <p>真に市の防災機能が求められるのは、非常災害以上の大規模災害における災害応急対策と災害復旧だと思う。従って、新庁舎の防災機能として最小限定しておくべき災害は、「震度6強レベルの首都圏域大規模震災」、「利根川・江戸川・中川等大はんらんによる広域水害」、「大規模火山噴火」とそれらの複合災害だと思う。これらの災害を前提とした耐震・類焼・浸水・堆積物・停電・通信対策について、想定外の事態にもエキスパンド対応できる予備を持った施設をお願いします。</p> <p>特に浸水については、ハザードマップ上可能性は少ないが、福島原発が津波想定を誤り補助電源機能を喪失したことを忘れず、地下と1階には、電源・燃料・通信設備・コンピュータなどの市庁舎機能維持設備は絶対に置かないでください。</p> <p>また、現庁舎の課題にもある通り、現代においては市民データ情報の保全是市の使命であり、テロを含むあらゆる災害からの防護もお願いします。</p>	<p>当審議会において市民3,000人を対象に行った「市庁舎に関する市民アンケート」においても、市庁舎の理想として「防災拠点機能を備えた庁舎」、市のまちづくりにおいて果たす役割として「災害時の情報収集、情報発信の拠点となること」を挙げる方が最も多い結果となりました。</p> <p>このことから、十分な耐震性を備えるとともに、市庁舎機能維持設備の配置位置にも十分配慮するなど、災害対策本部機能や防災拠点施設としての機能を充実させ、非常時における対策がとれる庁舎となるよう、市に答申します。</p>	なし
5	5. 導入機能の整備方針	P. 20～21	<p>(越谷らしさシンボル機能について)</p> <p>市役所は数多くの人を訪れる、越谷のシティプロモーションの場とも言えます。新たなまちの発信拠点で、PRにふさわしい「越谷らしさ」とは何でしょうか。全国的に知られていて日本唯一、越谷限定という価値ある資源、まちの顔となるべき越谷らしさを全国にPRできるオンリーワンの特長は越谷にないのか？国民健康保険の仕組みは今から79年前の越谷で生まれました。越谷が、「日本初」「発祥」のまちなのです。「国民健康保険発祥の地」というのは非常に価値のある越谷のシンボルではないでしょうか。</p> <p>本庁舎に係る「越谷らしさのシンボル」に関するご提案ですが、庁舎のエントランスに一室を設け、国民健康保険制度創設時の資料であり、今は市立図書館にある、国民健康保険制度を創った「順正会」の旗や日記、いきさつの解説文を展示したり、市役所の庭の隅にひっそりとたたずんでいる、当時の厚生大臣の揮毫(きごう)した「相扶共済」の碑を、庁舎玄関の目立つところに建ててはいかがでしょうか。</p>	<p>基本理念の中に「越谷らしさが感じられる庁舎」、基本方針の中に「訪れることで越谷を知ることができる庁舎」を掲げています。このことから、ご意見のありました記念碑の移設や関連資料の展示については、今後検討されるよう、市に答申します。</p>	なし
6	6. 本庁舎の規模の検討	P. 22～24	<p>総務省基準、人口数、職員数からアプローチしているが、市の実態に合致することが最も重要だと思う。また、耐用年数を考えると「投資」としての考慮も必要。市庁舎は市民の必須施設なのだから、必要十分でなく「将来の行政サービスの变化にも対応できる十分な庁舎」としてほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、市の実態に則したうえで、将来的な行政需要も踏まえて庁舎規模を検討するよう、市に答申します。</p>	なし
7	7. 本庁舎の整備方式	P. 26～28	<p>新庁舎における各種行政サービスととの統合・連携を再検討することを前提とした上で、コスト・耐震性の優位性に加え、行政サービスの継続性・将来の行政サービスのための柔軟性を考慮し、A案を最良と考えます。</p>	<p>整備方式については、A案を最良と考え、本庁舎を建替えにより整備するよう、市に答申します。</p>	なし
8	7. 本庁舎の整備方式	P. 26～28	<p>A案にて、少しでもイニシャルコストを抑えていくべきである。第三庁舎がなければB案だったが、市民の意見を聞く前に決まってしまう、残念でならない。</p> <p>A案の中央をうまく使えば、イベントを含めて土日の活用も考えられるので、市民にとってはうれしい整備方式である。</p> <p>市民はそもそも、あまり市庁舎に来ることはないの、事務以外での利用を求めている。第三庁舎は会議スペースが主なので、市民に土日の貸出も検討できないだろうか。</p>	<p>市民アンケートの自由記述欄においても、「建設コストに配慮し、財政負担のかからない庁舎にして欲しい」との意見が最も多く寄せられましたので、ライフサイクルコストを低減した庁舎となるよう市に提言します。</p> <p>また、既存の市役所会議室の貸出については、セキュリティ等の問題もあり、一般開放は難しいため、他の公共施設の貸出用会議室をご利用ください。</p>	なし